

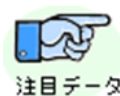
▶ 第12章

## SDGs 実現に向けた北朝鮮の取り組み ——実態と今後の展望

一般社団法人 東北亜未来構想研究所 所長  
李 鋼哲

### 【ポイント】

- ▶ 北朝鮮政府は、SDGs（持続可能な開発目標）をめぐり、国連加盟国の目標は経済的、社会的、環境的側面の相互作用を複合的に考慮し、持続可能な発展に優先順位を付けて、自国の法的・制度的な障壁を低くし、地域的な協力を強化する必要があると強調する。
- ▶ 戦後の北朝鮮や中国は社会主義国として、旧ソ連モデルを社会システムに導入した。社会的な平等、経済的な平等、教育の平等がそれである。基本的に教育無料、医療無料、住宅無料からなる「3無料制度」が構築されている。これは西側の資本主義的な経済指標では評価されにくいものである。
- ▶ SDGsは北朝鮮の「国家経済発展5カ年戦略」を達成するためのアプローチとして活用されてきたため、政府としてはある程度は対応することは間違いない。しかし、国際的な経済活動が正常に行えない状況において、経済力や経済成長と深く結びついているSDGsを達成する環境と条件は、現状では極めて不十分だと思われる。



注目データ

SDGsをめぐる北朝鮮の優先課題と目標

優先課題	目標
1. 食料および栄養安保 (Food and Nutrition Security)	SDG 2 貧困撲滅 SDG 9 社会基盤施設構築、産業化促進 とイノベーション
2. 社会開発サービス (Social Development Services)	SDG 3 健康と福祉
	SDG 4 良質の教育
	SDG 6 水と衛生
3. 復元力と持続可能性 (Resilience and Sustainability)	SDG 7 クリーン・エネルギー
	SDG 11 持続可能な都市と居住地
	SDG 12 持続可能な消費・生産
	SDG 13 気候変動への対応
4. データと開発管理 (Data and Development Management)	SDG 15 陸地生態系

資料： ENEA SDG Forum 2019 Report などをもとに筆者作成。